

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成20年10月9日(2008.10.9)

【公開番号】特開2007-72337(P2007-72337A)

【公開日】平成19年3月22日(2007.3.22)

【年通号数】公開・登録公報2007-011

【出願番号】特願2005-261656(P2005-261656)

【国際特許分類】

G 03 G 15/16 (2006.01)

【F I】

G 03 G 15/16

【手続補正書】

【提出日】平成20年8月26日(2008.8.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

トナー像を担持する像担持体と、

前記像担持体に当接して当該像担持体からトナー像が転写される一次転写部と当該トナー像を記録媒体に転写する二次転写部とを介する経路で周回動する中間転写部材と、

前記二次転写部より前記中間転写部材の移動方向上流側の当該中間転写部材の内周側に位置する張力調整部材を有し、当該張力調整部材を当該中間転写部材の当該二次転写部への進入経路と略平行に移動させて当該中間転写部材の張力を調整する張力調整機構と備え、

前記張力調整機構は、前記張力調整部材を揺動可能なアーム部材によって支持し、当該アーム部材の揺動によって当該張力調整部材が前記中間転写部材の前記二次転写部への進入経路と略平行に移動するように構成されていることを特徴とする画像形成装置。

【請求項2】

前記アーム部材を、前記張力調整部材が前記二次転写部から離間する側に揺動付勢する付勢手段を備えていることを特徴とする請求項1に記載の画像形成装置。

【請求項3】

前記張力調整部材はロール部材であって、前記アーム部材に回転自在に支持されていることを特徴とする請求項1または2に記載の画像形成装置。

【請求項4】

トナー像を担持する像担持体と、

前記像担持体に当接して当該像担持体からトナー像が転写される一次転写部と当該トナー像を記録媒体に転写する二次転写部とを介する経路で周回動する中間転写部材と、

前記二次転写部より前記中間転写部材の移動方向上流側の当該中間転写部材の内周側に位置する張力調整部材と、

前記張力調整部材を支持する揺動可能なアーム部材と、を備え、

前記張力調整部材と前記アーム部材の揺動支点とを通る直線が、前記中間転写部材の前記二次転写部への進入経路に対して略直交するように設定されていることを特徴とする画像形成装置。

【請求項5】

前記アーム部材を、前記張力調整部材が前記二次転写部から離間する側に揺動付勢する

付勢手段を備えていることを特徴とする請求項 4 に記載の画像形成装置。

【請求項 6】

前記張力調整部材はロール部材であって、前記アーム部材に回転自在に支持されていることを特徴とする請求項 4 または 5 に記載の画像形成装置。